（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート東海豊橋			
○保護者評価実施期間	2024年　11月　1日	～	2024年　11月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	27人	（回答者数）	19人
○従業者評価実施期間	2024年　11月　1日	～	2024年　11月　30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	14人	（回答者数）	14人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年　12月　16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動トレーニング	呼吸・感覚・動き・姿勢を整え遊びを通して身体を自然に動かし、発達に繋げていきます。	ゲームやパソコンがないところでお子様の自発的な遊びや発達に繋げる遊びをたくさんします。満足できるまで身体を使いきります。今までできなかった事が、無理なく自然と頑張らなくても普通にできるようにしていきます。
2	学習支援	宿題のお手伝いをします。宿題のないお子様にはその子にあったプリントをやってもらいます。	身体を通してビジョン（視覚）の発達を促します。学習などの目で見たり、手を使って書くなどの作業が負担なくできるようにしていきます。
3	ソーシャルスキルトレーニング	お友達のやり取りの中で子供同士でしか学べない社会性、会話の間合い、感情のやり取りを通して、親御さんや先生からでは学べない事をたくさん学びます。	挨拶からお片付け、お友達とのコミュケーションなど、学校生活や社会等に出た時、困る事のないように支援しています。将来自立して生きていける為の術を学びます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	思いっきり身体を使う、満足できるまで身体を動かす事が目標だが、事業所が狭い時がある。	事業所内で安全にできる運動を考える。	定期的に公園や体育館を利用する事で事業所ではできない事や思いっきり身体を動かす事ができる。
2	個別の活動より集団での活動が多い	個別での対応が難しいので、集団での対応が可能な子と個別での対応が必要な子、それぞれに対応を変えている。	集団活動が苦手な子対し、成長と共に他児他者への関心が出てくるまで根気よく個別で対応する。
3	研修の知識を現場で発揮しきれない。	遊びを明確出来ていない。	遊びの効果を共有し、観察、結果、見直しを繰り返し事で効果を明確にする。